

ハウロクイチゴ（新芽・新葉）

[木本] 《嗜好》



日当たりのよい所に見られる。



刺は葉の両面にある。



花は下向きに咲く。

区別のポイント

葉は卵円形で不揃いに浅く裂ける。裏面や葉柄には淡褐色の軟毛が密生し刺がある。

形態 ややつる性の常緑低木。

分布 本州（中部地方以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 実の形あるいは葉の形が焙烙に似ていることから。

葉 〈全体〉卵形または卵円形で長さ8～17cm。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉軟毛が密生し刺がある。

〈基部〉心形。

〈葉先〉鈍形。

〈縁〉不規則に裂け鈍鋸歯がある。

備考 成葉は、食べられずに残る。

出典 4, 7, 15